

# がん予防のススメ Vol.20

## 多発性骨髄腫



徳島大学病院  
血液内科助教

竹内 恭子 氏  
たけうち けいこ

多発性骨髄腫  
は、異常な免疫

グロブリン(M蛋白)を産生する形質細胞(血液の細胞のひとつ)が、骨髄(骨の中の血液を造るところ)の中で増加する血液のがんです。高齢者に多く発症し、人口の高齢化とともに発症頻度が増えています。骨がもろくなり、骨痛や背骨の圧迫骨折などを起こしやすい、また、貧血や腎障害も引き起こされます。初発症状としては腰痛などの骨の痛みが多くみられますが、検診などの際に高蛋白血症や貧血で発見される場合もあります。骨痛や貧血があれば骨髄腫も疑う必要がありますので、かかりつけの先生にご相談ください。



**徳島大学病院がん診療連携センター**  
お問い合わせ がん診療連携センター:Tel.088-633-7312

**徳島がん対策センター**  
お問い合わせ 相談窓口:Tel.088-633-9438